

令和 2 (2020) 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	経済・経営の現場を知る 1 (Topics of Economy and Management 1) 2013011-040					担当教員	栗井 英大 (クリイ ヒデヒロ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単 位 数	2	配当年次	1 年次	開講期	後期
科目特性	地域志向科目 / 知識定着・確認型 AL / 外部講師招聘科目								

① 授業のねらい・概要

今後の学修の基礎となる経済・経営概念の解説を通じて、大学において学修・研究していく足がかりを提供することが本講義の主目的である。

本講義では主に国内・県内経済に関する題材をもとに、現実の経済活動、県内産業や特徴的な企業を取り上げ、紹介する。

本講義を通じて、経済・景気の動き、県内産業の特徴や成り立ちのほか、本県には全国的にも有名な企業が多く存在することを学び、今後の研究のための基礎知識を蓄積し、問題意識を育てていただきたい。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

地域社会に貢献する姿勢 / 職業人として通用する能力を養う。

③ 授業の進め方・指示事項

講義は、パワーポイントを活用し講義を行い、書き込み式の配付資料の空欄を学生自ら埋めていく方法で進める。また、講義冒頭では、記憶の再生、定着を促すために、前回講義の復習を行う。

正当な理由のない遅刻・途中退席は認めない。

日々の社会的な出来事も積極的に取り上げるほか、学生の意見を取り入れつつ、講義を進める。そのため、授業内容が変更となる場合がある。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

「経済・経営の現場を知る 2」

⑤ 標準的な達成レベルの目安

- (i) 県内経済の産業構造を理解することができる。
- (ii) 県内の主要企業とその製造品目を理解することができる。
- (iii) 現在の景気動向を説明することができる。

⑥ テキスト (教科書)

テキスト指定なし。授業開始時にレジュメを配布する。

⑦ 参考図書・指定図書
細野真宏（2003）『経済のニュースがよくわかる本 日本経済編』小学館 大江英樹（2015）『知らないと損する経済とお金の超基本 1年生』東洋経済新聞社 新潟県統計課ホームページ「にいがた県統計ボックス」 その他、テーマに関連した参考文献や関連情報を必要に応じ紹介する。

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%		30%	15%		5%		100%
(i) 県内経済の産業構造の理解	15%		13%	6%		2%		36%
(ii) 県内の主要企業とその製造品目の理解	15%		13%	6%		2%		36%
(iii) 現在の景気動向の説明	20%		4%	3%		1%		28%
フィードバックの方法	初回講義内で、成績評価の方法・基準、講義の進め方、試験の方法等について、具体的に説明するので、出席すること。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
新潟県の有力企業や産業の特徴を、より具体的に紹介していく。

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）
1	講義ガイダンス 産業分類の概要、景気とは？	筆記用具	講義の復習 新潟県の主要産業 90分
2	農林水産業	筆記用具	講義の復習 新潟県内の農商工連携事例 90分
3	鉱業・建設業	筆記用具	講義の復習 知的財産権 90分
4	米菓製造業	筆記用具	講義の復習 米菓メーカー 90分
5	製造業①（食品、繊維、製紙）	筆記用具	講義の復習 県内本社の上場企業 90分

6	製造業②（化学、窯業、金属）	筆記用具	講義の復習 新潟県の伝統的工芸品	90分
7	◆長岡市の製造業	筆記用具	講義の復習 長岡市の製造業の発展の歩み・特徴	90分
8	製造業③（機械系・その他）	筆記用具	講義の復習 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働	90分
9	電気・ガス、卸・小売業	筆記用具	講義の復習 新潟県に本店を置く銀行	90分
10	金融機関	筆記用具	講義の復習 第四銀行と北越銀行の経営統合	90分
11	サービス業	筆記用具	講義の復習 現在の新潟県の景気	90分
12	県民経済計算	筆記用具	講義の復習 政府の景気判断	90分
13	景気関連統計の見方・読み方	筆記用具	講義の復習 アベノミクス	90分
14	アベノミクスとは	筆記用具	講義の復習 新潟県の人口増加対策	90分
15	人口減少 講義のまとめ	筆記用具 全ての配布資料	講義の復習 期末試験に向けた準備学習	90分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。

- ・ 毎回講義中に課題・問題を出すことにより、インプット型の講義に加えて、学生の知識のアウトプットも重視し、知識の定着を目指す。
- ・ 前回講義中に受け付けた質問・感想、及び宿題の内容について、講義中にフィードバックを行うことで、理解度を高めていく。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

平成 15（2003）年 3 月～平成 24（2012）年 6 月まで、(財)新潟経済社会リサーチセンターに在籍。研究員として、新潟県経済の調査分析および業界動向等の調査レポート作成業務に従事した。

実務経験と授業科目との関連性

県内経済の動向調査、様々な業種のレポート作成に携わった経験を生かし、県内経済・産業の特徴について、具体的な企業の紹介等を交えつつ分かりやすく説明する。